



# 第77回赤い羽根協賛 児童・生徒作品コンクール優秀作品

今年度も市内小中学校の児童・生徒のみなさまに共同募金運動を啓発する書道・ポスターを募集しました。応募総数書道の部1,013点、ポスターの部369点のうち、優秀作品として各7点を愛知県共同募金会へ推薦しました。多数のご応募ありがとうございました。(敬称略)



## 書道の部



雁宿小3年 後藤 すみれ | 乙川小4年 牧田 冴生 | 宮池小5年 齊藤 りあ | 半田小6年 片岡 亨介



半田中1年 竹内 綾萌 | 半田中2年 森脇 大和 | 半田中3年 峪 小春

## ポスターの部



板山小1年 岡田 さくら | 半田小3年 村瀬 楓 | 花園小4年 小栗 優悟 | 宮池小5年 吉田 彩那



乙川中2年 大谷 天優 | 乙川中2年 阿部 湊太郎 | 乙川中3年 稲葉 麻友

愛知県共同募金会推薦作品



愛知県共同募金会推薦作品14点、半田市共同募金委員会優秀作品41点はホームページでも公開しています。  
半田市共同募金委員会優秀作品についてはこちらの二次元コードからご覧いただけます。



## PayPayで募金できます!

※PayPay残高(PayPayマネー)とPayPayクレジットのみ利用可能です。PayPayマネーライト、「PayPayポイント」は利用できません。※「PayPayマネー」は、本人確認後に銀行口座やセブン銀行ATM、ローソン銀行ATM、Yahoo!フリマ・Yahoo!オークションの売上金を利用してチャージしたPayPay残高です。※寄付金額に対しての「PayPayポイント」の付与およびPayPayステップは対象外となります。※「PayPay」で利用できるのは「今回のみ寄付」(単発寄付)のみです。毎月の継続寄付には、現時点で「PayPay」は利用できません。



## あなたの力を必要としています!

半田市社会福祉協議会は、地域の課題を解決するためにさまざまな取り組みを行っています。ぜひ、ご寄付という形でわたしたちの活動をささえてください。みなさまのご寄付が大きな力となっています。



### 1 社会福祉への寄付

半田市内の福祉向上のために活用させていただきます。事務所にお越しいただくか、下記口座へお振込みください。

振込先: 知多信用金庫 本店営業部 普通 0538354 (福)半田市社会福祉協議会 / (フク)ハンダシヤカイフクシキョウギカイ

ご寄付をお振り込みいただいた方は、領収書送付のため①お名前②住所③電話番号④お名前の公表の可否をメールにてお知らせください。

E-mail: handa-syakyo@giga.ocn.ne.jp

### 2 食品の寄付

みなさまからいただいた食品を、生活にお困りの方や地域の子ども食堂へつないでいます。ご家庭や企業で使いきることのできない食品のご寄付をお願いします。量は問いません。たったひとつの缶詰でも、空腹を満たす以上の希望が詰まっています。

## 善意の灯 ありがとう

### あたたかいご寄付ありがとうございます。

### いただいたお気持ちは、「はんだのふ・く・し」のために大切に活用します。

令和6年10月1日～令和7年9月30日 ※お名前の公表について、ご了解いただいた方のみ掲載しています。その他、多数の方にご協力いただいています。(敬称略、順不同)

#### 現金寄付 社会福祉のために

カラオケ喫茶演歌ごころ/半田信用金庫/㈱gift デイサービス彩り・B型事業所ヒカリノオト/白石社会保険労務士事務所/愛知県立半田高等学校/成中会代表杉田英隆/ミートショップサカキバラ/小栗照夫/こくみん共済COOP愛知推進本部/(特非)まんまる/連合愛知多地域協議会/愛知県労働者福祉協議会知多支部/ユニー(株)小さな善意で大きな愛の輸送動ピアゴ半田店長早坂元良/半田建設防災協会建設部会/レコード喫茶部/レクサス東海/フコクしんらい生命保険㈱

#### 使用済み切手等 社会福祉のために

藤田病院/アイチセラテック㈱/豊田ケミカルエンジニアリング㈱/三菱UFJ銀行/愛知県労働者福祉協議会知多支部/瀧上工業㈱/日本郵便㈱知多地区連絡会/加藤鉄工建設㈱/JFEスチール知多労働組合/知多信用金庫/(同)宝来

#### 物品寄付 社会福祉のために

ユニー(株)アピタ阿久比店/半田市民管弦楽団

#### 物品寄付 フードドライブのために

㈱シンコーサポート/中部電力パワーグリッド㈱半田支社/半田中区/日本肥糧㈱名古屋支店/日本車輛製造㈱/㈱アイシン/日本ガイシ㈱知多事業所/JFEスチール㈱知多製造所/愛知県立半田農業高等学校/家田製菓㈱/連合愛知多地域協議会/カープス半田かめざき/㈱デンソー阿久比製作所/尾張製粉㈱/瀧上工業㈱

「ふ・く・し」とは、「ふだんのくらしのしあわせ」の頭文字。

# はんだのふ・く・し

## 「はんだのふ・く・し」見どころ

【特集】一人ひとりのちょっとした応援をつなぎ、しくみをつくる  
半田市社会福祉協議会の「ふだんのくらしのしあわせ」

【インタビュー】「ふくし共育に出会って、思うこと」

- ・第77回赤い羽根協賛 児童・生徒作品コンクール優秀作品
- ・善意の灯 ご寄付ありがとうございます



半田市社会福祉協議会の公式LINEができました!!

ふくし・暮らし・ボランティア・防災などに関する情報をお届けします。

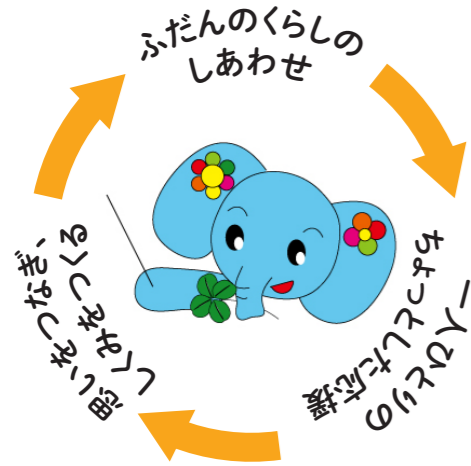


こちらの二次元コードからご登録ください

## 社会福祉法人 半田市社会福祉協議会

〒475-0918 半田市雁宿町一丁目22番地の1 瀧上工業雁宿ホール内

- 総務グループ (☎0569-84-2324)
- 権利擁護グループ (☎0569-23-7361)
- 半田市障がい者相談支援センター (☎0569-21-5585)
- 半田市包括支援センター (☎0569-23-8144)
- ボランティア地域ささえあいセンター (☎0569-25-0002)
- アウトリーチ支援担当 (☎0569-23-8174)



# 半田市社会福祉協議会はすべての人の「ふだんの・くらしの・しあわせ」をめざします!

すべての人のふだんのくらしのしあわせを実現するには、地域の中でおたがいにささえあうことが不可欠です。  
一人ひとりのちょっとした応援が、まわりの人の安心や笑顔につながり、そのあたたかさが別の誰かの行動を生み出します。  
半田市社会福祉協議会はみなさまの思いをつなぎ、しくみをつくることで「ふだんのくらしのしあわせ」である地域づくりをすすめています。

中嶋優多さん、  
大学生のAさんにお話を伺いました。

## 一人ひとりのちょっとした応援

自分のできる、ちょっとした応援で、人や地域をささえることができます。

### 食品の寄付



ボランティア相談・活動

### 共同募金



会員加入

## 思いをつなぎ、しくみをつくる

地域のみなさんとそれぞれの「できること」をつなぎ、困りごとの解決に向けて取り組んでいます。

### 食の支援

「もったいない」を「ありがとう」へ



地域のみなさまにご寄付いただいた食品を、必要としている人や団体へお渡します。

### ボランティアのコーディネート

「人」の思いと「活動」をつなぎます



ボランティアをしたい人としてほしい人・地域をつなぎ、ささえあう関係をつくるお手伝いをします。

### 福祉車両の貸出

「外出したい!」に応えます

車いすに乗ったまま移動できる福祉車両を貸し出しています。



### 地域の居場所づくり

人と人のつながりを応援!

誰もが気軽に参加できるふれあいいきいきサロン。サロン活動に対し、助成金で応援しています。



「ふだんの(いつもの)くらしの(生活が)のしあわせ(笑顔であること)」はみんなのものです。お互いに「ささえあう」地域づくりのために、半田市社会福祉協議会は地域のみなさまに「ふくし」の大切さを伝え、「ふくし」のために行動することを共に育むふくし共育を実施しています。

「ふだんのくらしのしあわせのために考えたり、行動すること」を全ての人に知ってもらう機会として、市内の学校、企業などに実施しています。

## ふくし共育に出会って、思うこと

### 中嶋優多さん(19歳) ふくし共育ボランティアで活動中!

助けたり助けられたりする関係になりたい

初めて参加したのは昨年、宮池小学校のふくし共育でした。そこで、講師である身体障がい者の杉江徳長さんの授業を聞き、自分もふくし共育の活動をしたいと思いました。

僕は身体障がい者であり、車いすを利用しています。普段子どもたちに会った時、車いすに乗っている僕を見てびっくりされてしまうことがあります。障がいがあっても「話すことができる」「いいところも」「そうじゃないところ」も知ってもらいたいと思っています。ふくし共育に関わることで、障がいのことを少しでも知ってもらえる機会になってもらえたらうれしいです。そして、

困っていたらお互いに助けたり助けられたりする関係になりたいと思っています。

### 中嶋優多さんの「ふだんのくらしのしあわせ」

僕の夢は地域の人たちが気軽に集まれる駄菓子屋をつくることです。今はイベントの時だけ、ポッチャで遊べる駄菓子屋を開いていて、大人も子どもも、みんなが楽しそうにしている笑顔を見るのが僕のいちばんのしあわせです。

### 大学生Aさん(20歳) 小学5年生のころにふくし共育を受講

身近なことに感じた「ふくし」

小学生のころ、ふくし共育の授業で初めて手話を体験しました。自分の名前を手話で表現したり、点字を打ってみたい、困ったことを題材に劇をしたり。普段の授業では味わえない体験は新鮮で楽しく、「ふくし」という言葉を身近に感じるきっかけになりました。

自分にできることをしたい

そのとき「困っている人がいたら助けたい」という気持ちが芽生えました。それは障がいの有無に限らず、道に迷っている人や重い荷物を持っている人など、身近な困りごとに対して「自分にできることをしたい」という思いです。

一方で、中学生の頃には家庭での介護を担いながら、学校生活では友人関係がうまくいかず、居場所を見失う経験もしました。家でも学校でも苦しさを抱える中で、「自分と同じように孤独や困難を抱える人がいるなら、その人をささえたい」と強く思うようになりました。



### 大学生Aさんの「ふだんのくらしのしあわせ」

今までの体験を経て、福祉系大学で学びを深め、社会福祉士を目指し勉強しています。